

国語科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00~17:30)
参加人員：調査研究員5名
研究内容：研究内容の確認，研究方法，研究日程等
について計画立案

- 第2回 7月2日(火) (16:00~17:30)
参加人員：調査研究員5名
研究内容：採択基準に照らしたときの各教科用図書の
状況等について，各調査研究員の報告
をもとに協議

- 第3回 7月16日(火) (16:30~18:00)
参加人員：調査研究員5名
研究内容：適当と認められる教科用図書の所見の
内容について協議

- 第4回 7月22日(火) (17:00~18:00)
参加人員：研究員長，副研究員長
研究内容：報告書の確認・修正

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38・光村	国語 107・108・207・ 208・307・308・407・ 408・507・607	こくご一上・一下・二上・二 下・国語三上・三下・四上・ 四下・五・六

○総合所見

・巻頭に、目次とは別に、当該学年での学習内容を領域ごとに示すとともに、各領域での既習内容も同ページ内に明示している。このことにより、教師も子どもも、それまでの学習内容との関連を意識しながら、その単元で付ける力を確認して学習に臨むことができるようになってきている。更に、重要な内容をキーワードとして示したり（「段落」「山場」「推敲」等）、各領域の学習過程と学習内容を対応させたり、説明的な文章と文学的な文章を明確に分けて学習内容を示したりと、学習指導要領で示された、国語科で育成を目指す資質・能力を的確に捉えるための工夫が随所になされている。

・各単元のページ構成も工夫されている。単元の終わりに「ふりかえろう」（自己チェック用のポイント）、「たいせつ」（重要な学習内容）、「いかそう」（今後の学習への生かし方）が示されていることは各領域共通であるが、単元冒頭に関しては、「読むこと」の扉ページでは教材文への興味を高める短文が、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「学習の進め方」が示される形になっている。領域の特徴に配慮した構成である。

○具体的所見

1 「読むこと」の教材文の後にある「学習」ページには、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習過程が必ず見開き2ページで示され、それに対応した具体的な学習内容が挙げられている。「読むこと」の学習の全体像を捉えながら学習を進めることができ、効果的である。

2 活字が大きく、書体も読みやすい。また、統一感のある色使いで、カラーユニバーサルデザインとしての配慮がなされている。単元の区切れ目には同色の帯が入っており、該当のページを開くことがしやすくなっている。

3 学習指導要領の「情報の扱い方に関する事項」に沿った内容の学習ができるよう「情報」教材が系統化されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東書	国語 101・102・201・ 202・301・302・401・ 402・501・601	あたらしいこくご一上・一下・ 新しい国語二上・二下・三上・ 三下・四上・四下・五・六

○総合所見

・巻頭に、当該学年の一年間で学習する内容が「言葉の力」として領域ごとに明示されており、指導者も児童も見通しをもって学習に臨むことができる。更に、巻頭で示したものと整合のとれた「言葉の力」を、各単元の冒頭と末尾で強調的に示しており、国語科の学習において育む資質・能力を明確に示そうとする工夫がなされている。

・各単元の冒頭には「つかむ」、単元末には「ふり返る」という内容が示されており、課題把握や自己の学びのふり返りが促される工夫がされている。また、随時示される「生かそう」には、他教科の学習や生活場面への活用を促す言葉が書かれている。

・単元に関連の深い既習事項を「覚えているかな」として冒頭に示すことで単元相互の関連性が図られており、必要に応じて以前の学習を確認することもできるよう配慮がなされている。

○具体的所見

1 モデルとして児童が考えを伝え合う場面の描写を記載し、対話的な学習を促す工夫がされている。

2 全体的に抑えた色使いで落ち着いた雰囲気表現されており、ユニバーサルデザインとしての配慮がうかがえる。

3 「ことばあつめ」「季節の足音」等のページを各学年に設定し、語彙の学習や伝統的な言語文化の学習が随時行われるよう配慮されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17・教出	国語 105・106・205・ 206・305・306・405・ 406・505・506・605・606	しょうがくこくご一上・一下・ 小学国語二上・二下・三上・三 下・四上・四下・五上・五下・ 六上・六下

○総合所見

・巻頭に、目次とは別に、各単元の内容を領域ごとに色を変え地図のように示す工夫がされており、それぞれの領域でどのような学習を進めていくのかという全体像を把握しやすくなっている。

・単元末に「ここが大事」という欄を設けており、その単元で付ける力を端的に示すとともに、具体的な内容も合わせて示している。中心となる学習内容の確実な定着を図ろうとする配慮がなされている。

・「読むこと」の学習では、教材文の後に「たしかめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」という学習過程が、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習では、単元の冒頭に「見通しをもとう」と題してそれぞれの学習過程が示されている。どの段階でどのような活動を行うのか、その単元では特にどの部分に重点が置かれているのかが捉えやすくなっている。

○具体的所見

1 対話モデルや作品例を提示し、児童の学習を補助する工夫がなされている。

2 見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。

3 単元末の「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」、巻末の「言葉の木」など、児童が語彙を増やす工夫がなされている。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
11・学図	国語 103・104・203・ 204・303・304・403・404・ 503・504・603・604	しょうがっこうこくご一ねん上・ 下・小学校こくご二年上・下・小 学校国語三年上・下・四年上・ 下・五年上・下・六年上・下

(所見)

・単元の冒頭に学習のめあてを示したり，活動の流れを示したりして，見通しをもって学習に臨める工夫がなされている。

・「読むこと」の単元末に示されている「国語のカギ」は，例えば「物語の最後の一文」「物語の語り手」といった内容であり，児童の視点を広げる工夫となっている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

.....

.....

.....

.....

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

.....

.....

.....

.....

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38・光村	書写 104・204・304・ 404・504・604	しょしゃ一ねん・二年・書写 三年・四年・五年・六年

○総合所見

・巻頭に「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」という基本的な「学習の進め方」をまず明示するとともに、各單元において、それぞれの段階の内容をより具体的に示している。学習の流れについて見通しをもつことで、児童の主体的な学習を促す配慮となっている。

・各單元に、「たいせつ」として学習の要点を示すとともに、2種類の例を対比的に示したり、親しみやすいキャラクターのイラストを用いたりするなど、児童の理解を助ける工夫がなされている。巻末には「たいせつのまとめ」が設けられており、各單元で学ぶ内容が一覧できるようになっている。学習内容を随時確認することができ、有効に活用することができる。

・国語教科書と連動した教材が各学年に二つ以上設定されている。「書くこと」の学習と一体的に扱うことができ、効果的、効率的な学習が期待できる。

・教材文字は大きく、すっきりとしている。各図書で共通して掲載している「道」の毛筆手本文字も、大きく美しく、すっきりとしている。

○具体的所見

1 「水書シート」（1年）や「しょしゃ体操」（2年）、「たしかめようシール」（3年）など、児童が取り組みたくなるような工夫がされていて、書く楽しさや達成感を感じながら学習を進めることができるようになっている。

2 大切なことを大きく表示したり、見出しにはユニバーサルデザイン書体を用いたりして、読みやすさに配慮がなされている。

3 漢字の成り立ちや古典などを系統的に配置して、言語文化についての理解を深めることができるように配慮されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東書	書写 101・201・301・ 401・501・601	あたらしいしよしゃ一・新しい しよしゃ二・新しい書写三・ 四・五・六

○総合所見

- ・文字を整えて書くために理解しておくべき「原理・原則」を「書写のかぎ」と名付け、系統的に各単元に配置してある。各単元では、「書写のかぎ」を「見つけ」「確かめ」「生かす」ことで、書写の知識・技能の定着を図ろうとしている。教科書サイズを他社より若干大きくし、その部分に「書写のかぎ」（3年生以上）が明記されており、内容を確認しながら使用することができるようになっている。
- ・「ふり返って話そう」を使用してまとめをすることにより、自己評価だけでなく、対話することで理解を確かめ、ふり返りを深める工夫がされていて、随時、協働的な活動を促して対話的な学びができるように構成されている。
- ・「生活に広げよう」「文字のいずみ」など、日常生活や他教科の内容と関連付けたり、伝統的な言語文化に関する理解を深めたりする工夫がされている。
- ・毛筆手本文字は最もスタンダードな印象である。

○具体的所見

- 1 1年間の学びを見通すイラストマップにより、児童に見通しをもたせることで、主体的に学ぼうとする意欲を引き出そうとしている。
- 2 児童への配慮として、カラーユニバーサルデザインの観点から配色・デザインについての工夫がされていたり、1年生の教科書には左利きの写真を載せたりしている。
- 3 水書用紙が1，2年生の教科書巻末に貼付されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116・日文	書写 105・205・305・ 405・505・605	しょうがくしょしゃ一ねん・小 学しょしゃ二年・小学書写三 年・四年・五年・六年

○総合所見

・どの単元も、「考える」、「確かめる」、「いかす」の3つの学習段階を踏みながら、自らの課題を解決する構成となっており、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。また、それぞれの学習段階に対応した「カエル」「カメ」「イカ」のイラストは子どもにとって親しみやすく、3段階を意識しやすいものになっている。

・「言葉の窓」のコーナーを設け、語彙指導の改善・充実を書写の学習と関連させる工夫がされている。また、「国語の広場」や「生活と書写」のコーナーにより、書写での学びを国語科の他の学習場面に生かしたり、日常生活で活用したりすることが促される工夫がなされている。

・発達段階に応じて、正しく書くことから、字形を美しく書くことへ段階的に移行できるように、教材配列が配慮されている。

・「道」の毛筆手本文字は、適当と認められる教科用図書3社中、一番大きくはっきりしている。

○具体的所見

1 「できたかな」のチェックでどんな力がついたかを認識できるようになっている。1時間の学習の終わりに自己評価をして、□にチェックすることで本時の課題に対する振り返りができるようになっている。

2 筆の顔のイラストで「穂先の向き」や「筆圧」を表すなど、感覚的に向きや力の入れ具合をとらえやすくする工夫がされている。

3 1, 2年生の教科書巻末に貼付されている「水書きシート（水書用紙）」は、大きなサイズで使いやすい。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17・教出	書写 103・203・303・ 403・503・603	しょうがくしよしゃ一ねん・小学 しよしゃ二年・小学書写三年・四 年・五年・六年

(所見)

- ・問題解決的な手順で学習できるような展開が示してあり、児童が学習の過程を意識しやすいよう配慮されている。
- ・「文字の世界」や「レッツ・トライ」は児童に興味を持たせやすい。
- ・手本文字は上品な印象である。「道」の毛筆手本文字は5社中最も小さい。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
11・学図	書写 102・202・302・ 402・502・602	みんなとまなぶしょうがっこう しよしゃ一ねん・みんなと学ぶ小 学校しよしゃ二年・みんなと学ぶ 小学校書写三年・四年・五年・六 年

(所見)

- ・学習段階の違いを3色で色分けし、課題解決の過程が意識できるよう配慮されている。
- ・「なぜ？なに？書写の不思議」や「書写の資料館」のコラムは書写学習に関心を持たせるよう工夫されている。
- ・「道」の毛筆手本文字には特徴がある。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

.....

.....

.....

.....

社会科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

○第1回 6月20日(木) (16:00～)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案

○第2回 7月 3日(水) (18:30～)
調査研究

○第3回 7月11日(木) (18:30～)
調査研究

○第4回 7月22日(月) (18:30～)
調査研究報告書の作成

2 採択に向けた選定について調査研究委員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については対象がありません。

適当と認められる教科用図書（社会）

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 東書	社会 301・401 501・502 601・602	新しい社会3・4・5上・5下 6 政治国際編・6 歴史編

○総合所見

小学校学習指導要領（社会科）に則り、系統的な単元の配列・構成はもちろんのこと、今日的な課題にかかわる内容を随所に取り上げるなど、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成できるように工夫されている。また、学習問題や学習計画を立てる部分が具体的かつ丁寧で、社会科を専門としない教員に対しても扱いやすくなっている。さらに、「見方・考え方」を表したマークが視点ごとに示されているため、問題解決的な学習に「社会的な見方・考え方」を働かせながら取り組むことができ、学びが深められるようになっている。フォントやカラー等にも工夫がされ、全ての児童が使いやすいように紙面へのユニバーサルデザインの配慮がみられる。

以上のことから、教科用図書（社会）として適当と認められる。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・様々な仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを提示し、共感的な理解を促せるよう配慮されている。
- ・防災・安全、道徳教育、領土、国旗、主権者教育、伝統や文化、国際理解・グローバル教育など、今日的な課題にかかわる内容が随所に取り上げられ、主体的に問題解決しようとする態度を養えるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮（内容の程度、学習活動への誘意性）

- (1) 「まなび方コーナー」では、学習場面に応じた学び方を具体的に示し、学習技能を系統的に習得できるよう工夫されている。
- (2) 身近な社会的事象の写真・資料から、発達段階に応じた学習問題をつくり、興味・関心をもって追究できるよう配慮されている。
- (3) ドラえもんが目印となる「見方・考え方」の囲みを提示している。特に、「時間」「空間（位置や広がり等）」「相互関係（かかわり等）」の3視点に加え、「方法（考え方）」の計4種類について、イラストを変えて表現してあるため、どのような視点や方法で学習していくかが明確に分かるように配慮されている。

3 学習指導への配慮（単元・題材の配列、内容の扱い）

- (1) 各学年の指導内容がバランスよく配列され、5・6年が2冊の構成となっており、身近な事例から次第に学習対象や分野において広がりや深まりが生まれるような単元の配列がなされている。
- (2) 「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を通して、習得した知識の定着を図るとともに、多様な表現活動を提示するなどの工夫があり、思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。
- (3) 「いかす」場面では、社会的な事柄に参画・提案することができるように、自分にできることを考えたり、選択・判断したりする場を設けている。

適当と認められる教科用図書（社会）

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17 教出	社会 303・403・503・603	小学社会 3・4・5・6

○総合所見

ほぼすべての見開きページに「この時間の問い」と「次につなげよう」を記載するなど問いをつなげて学習しながら、自然災害や人権問題などの社会に見られる課題やその解決に向けてさまざまな取り組みをする人々の話や姿を取り上げるなど、社会参画への意欲や持続可能ですべての人間が尊重される社会を創造する力を育てるよう配慮されている。

また、巻頭に前学年の学習の振り返りや追究を振り返る視点を示し、さらに、巻末で一年間の学習を振り返るなど、追究過程の意識化が図られている。

以上のことから、教科用図書（社会）として適当と認められる。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- (1) 「社会的な見方・考え方」や問いに迫る視点、方法を示唆する吹き出しがあり、知識を体系化して概念を膨らませることができるよう配慮されている。
- (2) 身近な社会的事象を取り上げて、問いから展開していく学習の流れを重視することで、児童が主体的に学習に向かえるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 単元や各時間の問い、次時とのつながりを示すとともに、社会の人々の話や話し合いの活動例などを提示し、児童が課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。
- (2) 調べ方やまとめ方などが例示されるとともに、資料に合わせた吹き出しで「社会的な見方・考え方」の視点や方法が示され、それらを働かせて調査・表現活動が進められるよう配慮されている。
- (3) 「学びのてびき」で資料の読み取り方などを示したり、写真だけではなく、模式図や想像図（歴史）も示したりして、内容をよりの確につかめるよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- (1) 単元を通して追究していく問いや各時間の問い、次時とのつながりが示され、児童が見通しをもって課題追究できるよう単元構成が工夫されている。
- (2) 資料の提示により、「社会的な見方・考え方」の視点や方法を引き出す工夫がされるとともに、児童同士や社会の人々との対話的な学習が例示され、多角的に考えられるように配慮されている。

適当と認められる教科用図書（社会）

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116 日文	社会 304・404・504・604	小学社会 3年・4年・5年・6年

○総合所見

各学年の教科書の巻頭に、その学年で学習する内容や学習を通して身につけたい「社会的な見方・考え方」やめざす姿が明示されている。

また、調べ活動や表現活動などの多様な学習活動の例示や毎時間の学習における観点の明示、紙面のほぼ半分を割り付けるなどの資料提示の工夫、キャラクターのつぶやきによる毎時間の問いの補助など、児童が主体的に学習を深めることができるよう工夫されている。

以上のことから、教科用図書（社会）として適当と認められる。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・「見方・考え方コーナー」により、「社会的な見方・考え方」を「空間」「時間」「関係」という3つの視点で明示し、学習した知識を概念化できるよう配慮されている。
- ・児童の興味・関心を考慮し、身の回りの社会的事象から始まり、社会に見られる課題を考える単元構成となっている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 児童の日常生活と関連のある具体的な資料を、単元の導入に提示することにより、児童が生活を基にした課題をもち、主体的に学習できるよう工夫されている。
- (2) 観点を明確にした「学び方・調べ方コーナー」を提示したり、具体的なまとめ方を例示したりすることで、発達段階に応じた見学・観察・調査・表現活動ができるよう配慮されている。
- (3) さし絵・写真・地図等の資料と本文の割付を統一し、本文の文字間を十分にとるなどの配慮がされている。

3 学習指導への配慮

- (1) 発達段階に応じて取り上げる学習内容を選定し、内容の系統性を踏まえた単元配列にすることによって、基礎的・基本的な内容が身に付き、実生活への活用ができるよう配慮されている。
- (2) 話し合いの場面で「社会的な見方・考え方」や、さらに追究を深めるための資料が提示されて、社会的事象の特色や意味を多角的に考えられるよう配慮されている。
- (3) 「学び方・調べ方コーナー」で、グラフの読み方や図によるまとめ方などを明示し、知識・技能の定着を図ることができるよう配慮されている。

別紙1

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 東書	地図 301	新しい地図帳

○総合所見

テーマ別の資料地図、統計資料等がまとめられており、各学年の問題解決のための資料探しが行いやすいようにカラー、イラストを多く使い、地名を表す字の大きさも大きくなっていることから、地図を初めて使う子どもたちにとっても分かりやすい内容になっている。また、高学年の子どもたちにとっては世界地図の国名に欧文表記が添付されており、合科・横断的な学習にも活用が考えられたり、歴史・公民的分野とも関連させたりして使用することができる内容になっている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・地図や地球儀に親しみ、基礎的な読図技能とその活用を図りながら国土に対する地理的理解を深められるよう配慮されている。
- ・テーマ別の資料地図、統計資料等を用いて、各学年の学習内容に即して社会的事象の特色を多角的に考察できるように配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 資料に結びついた写真を載せたり、キャラクターによる問題提示や着眼点などの吹き出しを入れたりすることで、地図を基に疑問点を追究できるように工夫されている。
- (2) 各地方を示す地図では等高線を基に、土地利用の様子が彩色で示され、地域の特徴がとらえやすいよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- (1) 我が国の自然災害の分布や歴史、防災の様子を地図から読み解くページや日本の世界遺産の分布や祭り・歴史的建造物の分布を示す地図があるページがあり、子どもたちが歴史・文化を現在の社会と結びつけて考えられるよう配慮されている。
- (2) 物差しを用いた縮尺、八方位、経線・緯線の読み方といった地図帳の活用法について、発達段階に応じた地図学習の基礎を学べるよう工夫されている。

4 全体的な特色

- (1) 地図の仕組みや約束事が記載されるなど、発達段階に応じた地図学習に活用できる地図や資料が配列されている。
- (2) 歴史年表と世界地図との関連を表すなど、各学年の学習内容と結びつけて活用できるよう工夫されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
46 帝国	地図-302	楽しく学ぶ 小学生の 地図帳 3・4・5・6年

○総合所見

地図の有用性を理解し、本書を有効活用するとともに、将来にわたって地図活用の技能を生かせるよう、「地図のやくそくごと」「地図帳の使い方」を重視して巻頭に配置してある。また学んだことや調べたことを地図にまとめ、発表する力を身につけさせるために、地図（防災マップ）にまとめる作業手順を示している。このように、地図活用の技能が身につく工夫がなされている。

全編を通してあざやかな緑色と明るい茶色で高さごとに色分けした等高段彩表現を用いたり、地図・写真を美しく鮮明に表現するために、緑色の特殊インクも加えた多色刷りで印刷されていたりして、大変見やすくなっている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・ 地形図や地球儀の読図技能が段階に応じて身に付けられるよう工夫され国土や世界の地理的理解ができるように配慮されている。
- ・ 社会に見られる課題に対応可能な情報が掲載されており、児童が主体的に学習に活用できるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 日本の地方図は8地方と主要地域の地図を加え重要な地名・産物・歴史事項について表記するとともに、地名の種類ごとに判別しやすい表記がなされ、正しく読み取れるよう工夫されている。
- (2) 最新データを反映した主題図や人々の生活の様子を示す写真を掲載したり、問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置したりして、進んでテーマ学習ができるよう工夫されている。

3 学習指導への配慮

- (1) 地震や火山、防災に関する写真や主題図を掲載したり、歴史上の出来事や伝統的工芸品、世界遺産名を地図上に示したりして、国土とその変化を捉えることができるように配慮されている。
- (2) 地形図の成り立ちや地図記号の理解、索引のひき方など、地図帳の使い方に関する内容が冒頭で丁寧に扱われており、資料活用の基礎的な能力を養うように工夫されている。

4 全体的な特色

- (1) 土地利用を6色に分けた地図が用いられ、広い視野から見ることができる折り込み地図や多様な主題図が用いられている。
- (2) 豊富な統計資料や学習のポイントが示され、3学年からの利用も考慮し、様々な角度から学習できるように配慮されている。

算数科教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00～)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 7月1日(月) (18:00～)
調査研究(1) ・各教科用図書の特長等についての考察
- 第3回 7月10日(水) (18:00～)
調査研究(2) ・学年別、単元別に見た教科用図書の比較検討
- 第4回 7月17日(水) (18:00～)
調査研究(3) ・まとめと報告書の作成

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
61・啓林館	算数	108 わくわく さんすう1
		208 209 わくわく 算数2上・下
		308 309 わくわく 算数3上・下
		408 409 わくわく 算数4上・下
		508 わくわく 算数5
		608 わくわく 算数6

○総合所見

- ・ 系統性を重視した単元構成がなされており、既習事項をもとに子どもの思考力を高める学習ができるように工夫されている。
- ・ 多様な考え方を示し、相互の関連や共通点に着目させることで統合的・発展的に考えたり、言語活動の充実を図りながら思考力や表現力を高めたりできるように工夫されている。
- ・ 数学的活動を積極的に取り入れ、児童が自ら課題意識を持って学習を進める中で、結果を評価・改善する追究につながるように工夫されている。
- ・ 各単元末や巻末で、学習内容を反復して練習できる場が設定されており、児童が自己評価したり未習熟な内容にフィードバックしたりできるように構成が配慮されている。
- ・ 写真、付録、WEBサイトとのリンク等を効果的に取り入れ、児童が興味・関心を持って主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・ 数学的な系統性を重視した単元構成および単元配列になっており、数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせられる場面設定が工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・ 多様な考え方を引き出し、児童が自分の考えを整理し的確に表現したり、複数の考えを比較検討したりできる力が育まれるように工夫されている。
- ・ 学習問題の提示に続き「めあて」が示されており、児童が解決に向けた見通しを持って学習に臨めるように工夫されている。
- ・ 単元末に設けられた「学びをいかそう」では、身のまわりの事象に算数を活用する題材を取り扱って、算数を学ぶ意義が感じられるように配慮されている。
- ・ 各単元の練習問題には巻末の「もっと練習」とのつながりが明記され、児童が繰り返して練習したり自己評価したりして基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。

3 学習指導への配慮

- ・ 問題解決のための手がかりや疑問などがキャラクターの吹き出しで示され、子どもたちが主体的に学ぶための指導につながるように工夫されている。
- ・ 「コンパスの使い方」「垂直な直線のかき方」など、道具の使い方や図のかき方が写真やWEB上の動画で示され、適切な指導に役立つように工夫されている。
- ・ 単元末の「たしかめよう」では、学習内容や学習したページが示されており、問題を解きながら児童が自分の理解状況を自己評価できるように配慮されている。
- ・ 巻頭の「わくわく算数学習」に「問題提示→課題把握→個人追究→全体追究→一般化」の1時間の授業展開が示され、児童が見通しを持って学習に臨めるように工夫されている。

* 3候補以上
* 各社を別様記載

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東書	101 102	あたらしいさんすう1①②
	201 202	新しい算数 2上・下
	301 302	新しい算数 3上・下
	401 402	新しい算数 4上・下
	501 502	新しい算数 5上・下
	601	新しい算数 6

○総合所見

- ・単元の導入や終末で、児童が身の回りの数理に興味・関心を向け、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。
- ・具体物の操作や話し合いの着眼点などについて、写真やイラスト、キャラクターの吹き出しなどを効果的に用いて、児童が見通しを持って数学的活動に取り組めるように配慮されている。
- ・各単元末や巻末に練習問題が多く載せられているとともに、必要に応じて学び直しができるよう、学習内容の定着や習熟を図るための配慮がされている。
- ・単元導入前に既習事項の振り返りをする場が設けられており、系統的なつながりを考慮した単元構成になるように配慮されている。
- ・「給食の残食」「訪日外国人」「陸上競技の記録の進化」など今日的な課題を取り上げ、情報の読解力や活用力が伸張されるように工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・数学的活動を重視した展開で構成し、基礎的・基本的な知識および技能を習得するため、繰り返し学習できるように配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・単元の導入では、日常場面から課題を発見したり、課題に対する疑問や考えを児童の対話形式で示したりして、主体的な学びになるように工夫されている。
- ・単元末の「いかしてみよう」では、単元の学習内容を活用した発展的な題材を取り上げ、児童が興味を持って学習に取り組めるように配慮されている。
- ・「たしかめよう」「ふりかえりコーナー」など、児童が学習内容の理解を確認したり、必要に応じて学び直したりできるように配慮されている。
- ・入学直後の児童が扱いやすいように、1学年当初の単元は薄くてサイズの大きい分冊になっており、書き込みやブロックの操作がしやすいように工夫されている。

3 学習指導への配慮

- ・「算数マイノート」では、ノートの取り方が具体的に示され、数学的な見方・考え方を深められるノート指導ができるように配慮されている。
- ・巻末に「ほじゅうのもんだい」があり、「似ている問題」「少しむずかしい問題」という表示で問題の難易度を示し、児童の習熟度に合わせた取り組みができるように配慮されている。
- ・「おもしろ問題にチャレンジ」では、単元をまたぐ問題や他教科との関連を意識した問題が用意されており、児童がこれまでの学習を生かして取り組めるように工夫されている。
- ・習熟に時間を要する内容を二つの単元に分けたり、つまづきの原因を分析したりして、基礎的・基本的な内容が定着するように配慮されている。

* 3候補以上

* 各社を別様記載

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
11・学図	算数	しょうがっこうさんすう1年上・下
		小学校 算数 2年上・下
		小学校 算数 3年上・下
		小学校 算数 4年上・下
		小学校 算数 5年上・下
		小学校 算数 6年・中学校へのかけ橋
		小学校 算数 6年 605

○総合所見

- ・ 日常の場面から疑問を取り上げたり、数学的視点から捉えたりして、課題に主体的に取り組む態度が育成できる展開になるように工夫されている。
- ・ 数学的活動の場面が写真やイラストで具体的に示されており、児童の興味・関心を引き出し、思考過程と学習内容を結びつけることができるように配慮されている。
- ・ 単元末に、身のまわりで算数が活用できる場面について取り上げ、深い学びにつながる学習が展開できるように配慮されている。
- ・ 単元末や巻末に補充問題や発展問題が多く掲載され、児童の理解の程度に合わせて習熟が図れるように配慮されている。
- ・ 「話したいな」「説明したいな」という表記により話し合いが促され、児童の表現力を育てるとともに、対話的な学びになるように配慮されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・ 生活場面から素材を求め、学習した知識および技能を生かして主体的に問題解決が進められるように配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・ 多様な考え方を挙げ、それらについて話し合う場面を示しながら、対話的な学びになるように配慮されている。
- ・ 単元の導入では、日常生活の場面を取り上げ、4コマ漫画を用いて簡潔に学習問題が把握できるように配慮されている。
- ・ 「考え方モンスター」というキャラクターを登場させ、数学的な見方・考え方を意識しながら興味を持って学習に取り組めるように工夫されている。
- ・ 単元の始まりに既習事項の復習があったり、単元末に学習内容を活用して解く「学びを生かそう」「深めよう」があったりして、系統的な学びになるように配慮されている。

3 学習指導への配慮

- ・ 「〇〇のときと同じように考えてみよう」という表記により、児童が既習を想起して学習が進められるように配慮されている。
- ・ 6年生では、別冊「中学校へのかけ橋」が用意され、算数で使ってきた考え方を整理して提示したり、中学校で学習する初歩的な内容を体験したりできるように工夫されている。
- ・ 算数で大切にしたい用語について巻末に索引がついており、児童が必要に応じて調べたり復習したりできるように配慮されている。
- ・ 単元末の練習問題「できるようになったこと」には、その問題に関わるつける力を端的な言葉で明記するとともにチェック欄が設けられており、基礎的・基本的な内容の習得を自己評価できるように配慮されている。

* 3候補以上

* 各社を別様記載

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17・教出	106	しょうがくさんすう 1
	206 207	小学算数 2 上・下
	306 307	小学算数 3 上・下
	406 407	小学算数 4 上・下
	506	小学算数 5
	606	小学算数 6

(所見)

・数学的な表現を相互に関連させながら、言語活動を通して数学的に考えたり表現したりする力が育成されるように配慮されている。

・身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識を持って数学的活動に取り組めるように配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
4・大日本	103	たのしいさんすう 1ねん
	203	たのしい算数 2年
	303	たのしい算数 3年
	403	たのしい算数 4年
	503	たのしい算数 5年
	603	たのしい算数 6年

(所見)

・問題配列の工夫や数学的な見方・考え方を整理する場の設定など、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように配慮されている。

・導入の工夫や発展的に考える様子の例示など、児童が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116・日文	110 111	しょうがくさんすう 1ねん上・下
	210 211	小学算数 2年上・下
	310 311	小学算数 3年上・下
	410 411	小学算数 4年上・下
	510 511	小学算数 5年上・下
	610	小学算数 6年

(所見)

・単元で学習した内容を日常の生活場面で活用する活動を取り上げ、習得した知識および技能を問題解決に生かせるように配慮されている。

・単元の始まりや終わりに、既習事項を確認したり定着を図ったりする場面があり、つまずきやすい内容について学び直しの機会が設けられ、個に応じて習熟を図るための配慮がされている。

* 別葉記載は不要

(2 ページ以降)

理科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00～)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 7月 8日(月) (16:30～)
具体的所見の比較・検討、採択教科書の絞り込み
- 第3回 7月16日(火) (16:30～)
具体的所見の比較・検討、採択教科書の決定
- 第4回 7月18日(木) (16:30～)
作成資料の校正等

2 採択に向けた選定について調査研究委員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
26・信教	理科305・405・505・605	楽しい理科3・4・5・6

○総合所見

- ・長野県の地域性を重視し、県内の特色ある自然や身近な地域素材、生活経験や身の回りの事象と結びつけながら、自らの諸感覚をはたらかせたり、既習事項や既有経験を生かしたりしながら、主体的に問題を見いだすことができるように単元の構成が図られている。
- ・見通しをもって観察・実験などを行ない、科学的な見方・考え方をはたかせながら問題を解決していったり、児童相互に情報交換しながら考え合い、納得して、実感を伴った理解にいたりするという、主体的・対話的で深い学びに視点を置いた問題解決の過程が大切にされている。
- ・観察・実験などの結果を整理し、考察や表現する活動を大切に、学習事項を生活と関わりの中で見直し、自然の事物・現象について実感を伴った理解が図れ、理科学習の有用感が認識できるように単元の展開が工夫されている。

○具体的所見

- 1 長野県の特色ある自然、季節の移り変わりやそれに応じた生物の生育状況にあった単元配列になっており、児童が五感を通して直接自然に触れ、主体的に取り組めるように工夫されている。
- 2 「思いだそう」で、関連する学年や学習事項を示し、他学年の学習とつながる展開や、「考えてみよう」で、互いの予想や考えを出し合って練り合い、自分の予想の妥当性や検証の手立てをより明らかにして学習が進められるよう展開が図られている。
- 3 学年の発達段階に応じて、理科的な用語を使いながら図やグラフ、表などを用いて学習をまとめ、理解の定着を図るとともに、自分の考えをわかりやすく伝える表現力を養うことができるように配慮されている。

* 3候補以上
* 各社を個別に記載

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
4・大日本	理科302・402・502・602	たのしい理科3・4・5・6

○総合所見

- ・自然の事物・現象から問題を見だし、観察・実験を通して、問題解決に取り組めるようにそれぞれの過程における学び方が示されており、理科の見方・考え方を働かせて科学的に解決できるような工夫がされている。
- ・観察、実験の方法が図で順序立てて示され、結果の考察では予想を振り返りながら他者との協働によって自分の考えを妥当なものにする対話的な活動が重視されている。
- ・安全が確保された教材が示され、学年が上がってからも既習事項を確認できるような構成されていたり、考察では、総合的な学習を含む他教科等との関連についてマークで示されたりして、他学年及び中学校との関連が図られたりしている。

○具体的所見

- 1 単元導入では身近な生活経験を想起させる写真などを取り上げられたり、「話し合いのしかた」が示されたりして、見通しを持ち、他者との協働によって自分の考えを妥当なものにする対話的な活動が重視されている。
- 2 他教科との関連について「算数で学ぶこと」「はってん」などのマークで示され、既習事項を振り返られたり、他学年及び中学校との関連が図られたりしている。
- 3 単元末に「たしかめよう」、巻末に「チャレンジ問題」等を設定して、単元で学習した内容の定着が図れるよう工夫されている。

* 3候補以上
* 各社を個別に記載

生活科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00～)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 7月 1日(月) (16:30～)
採択基準に基づき、教科書用図書の内容の比較検討
資料作成についての確認と作成
- 第3回 7月 8日(月) (16:30～)
資料原案の検討、記述の根拠となるページの確認
資料完成に向けての確認
- 第4回 7月16日(火) (16:30～)
資料最終確認、報告内容の検討
調査研究の留意事項を再確認(秘密厳守)

2 採択に向けた選定について調査研究委員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
26・信教	生活 109・110	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ

○総合所見

県内の学校の実践をもとにした編集であり、長野県の児童にとって大変身近で親しみのもてる学びやすい教科書となっている。内容も、「人間愛」の育成を基本理念におき、長野県の地域に根ざした体験活動ができるよう配慮されている。地域に育つ児童が、決して特別ではない「いつもの場所」「さんぼみち」に四季を通じて繰り返し通ったり、誰もが知っている年中行事に取り組んだりすることで学びが広がり深まっていく様子が示されている。また、児童の多様な発見や発想を引き出しながらふるさとへの愛着をもたせるとともに、教師側にとっても実践につなげやすい配慮がされている。更に、学習活動が児童の願いから立ち上がり、自ら課題をもって展開できるよう配慮されている。そのため、単に活動の例示をしているのではなく、「感動体験」「探究活動」「表現活動」が多様に示されるとともに、情報交換や振り返りの場が位置付くような配慮がなされ、より深い学びにつながるよう工夫されている。

○具体的所見

- 1 年間を通した連続的で具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるよう配慮されている。また、動植物との継続的な関わりや四季を通した直接体験の中で、対象への働きかけや比較、分類等ができるよう配慮されている。
- 2 児童の願いから立ち上がる活動の端緒や追究過程を大事に考えた単元展開となるよう配慮されている。単に活動を例示するのではなく、表情豊かな写真や挿絵、吹き出し等(上p32下p62・63)で「感動体験」「探究活動」「表現活動」を多様に示し、学びの深まりや広がりにつながる活動へ触発できるよう工夫されている。
- 3 地域に育つ児童が、特別ではない「いつもの場所」(上p26～31, 他)に四季を通して繰り返し足を運びかかわることを重視した内容構成となっており、四季の自然の変化への気付きだけでなく、直接体験したり、調べたり、試行錯誤したりしながら活動できるよう工夫されている。
- 4 年中行事(上p34・35, 他)を取り上げ、季節の変化とかかわりのある地域行事を通して、地域の人・もの・こととかかわり、学びを深めるとともにふるさとへの愛着も深められるよう配慮されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
61・啓林館	生活科113・114	わくわく せいかつ 上下 いきいき せいかつ

○総合所見

各単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されている。「わくわく」では、児童の意欲を喚起し、思いや願いを高め「いきいき」では、直接体験を行い主体的・対話的な深い学びができるように配慮されている。「ぐんぐん」では、学んだことを伝え合い、友との考えや体験の交流を行い、振り返りを表現する場面が設置されており、学習したことを次の学習や生活に生かそうとする配慮がされている。他教科との関連も示されており、カリキュラムマネジメントの参考になる内容構成になっている。基本的な知識及び技能の基礎や、挨拶、マナー、安全に関する事項が各種コーナーで学習できるように工夫されている。豊富な写真だけでなく、イラストもふんだんに使われており、児童の活動が伝わりやすく配慮されている。

○具体的所見

- 1 基本的な知識及び技能の基礎や挨拶、マナー、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるように工夫されている。(上p16)
- 2 季節ごとの様子が伝わるような写真が多く取り入れられていたり、地域の暮らしや、つながりを感じることでできるイラストが入っていることにより、身近な人や自然について親しみながら学習していけるように配慮されている。(上p10. 11下 p34. 35)
- 3 「自分でおもちゃをつくってみよう」(下p62) 「あそびかたやルールをくふうしよう」(下p64) 「みんなで楽しくあそぼう。」(下p66) では、連続した活動の中から生まれた気付きや願いが次の活動につながるように単元の設定が工夫されている。
- 4 「がくしゅうずかん」では、自分で調べたり考えたりできるヒントや具体的な方法などが掲載されており、意欲的に学ぶことができるよう配慮がされている。(上p119～下p109～)

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116・日文	生活 115・116	わたしとせいかつ 上 みんななかよし 下 ふれあいだいすき

○総合所見

児童が学習活動をイメージしやすいように、分かりやすいタイトルや思い・願いが例示された吹き出し、学び方の工夫欄が定位置に置かれた紙面構成となっている。自分自身の生活を、身近な社会や自然、人との関わりでとらえ、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるように配慮されている。また、小単元の左下に示された「学習のめあて」によって、教師が育成すべき資質・能力がとらえやすいよう配慮されている。

自分自身の変容や成長をとらえ、自分自身のよさや可能性についても気付くことができるように配慮され、学習指導要領で大切にされている自分自身についての気付きの質が高められるように工夫されている。

○具体的所見

- 1 思いや願いを実現する過程において、児童が適切な習慣や技能を身に付け、その習慣や技能を自分自身の生活に活用できるよう工夫されている。気付いたことや考えたことをいろいろな方法で伝え合ったり、振り返ったりして表現することができるよう配慮されている。

- 2 見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶ等の直接働きかける学習活動を通して、具体的な活動や体験から考えたり行動したりすることができるよう工夫されている。繰り返し関わりながら季節の変化に気付く学習活動（上p49、75、103）や、地域で生活している人々と関わる学習活動（下p11、63）等が工夫されている。

- 3 単元は「課題設定→活動→振り返り」という構成になっており、他教科との関連を踏まえながら十分な活動や体験が継続的に行われるよう工夫されている。単元末には振り返りの場面を設け、友だちと活動し見つけたことを比べたり、伝え合ったりすることで、様々な気付きが生まれるよう配慮されている。

- 4 児童の表情をとらえた写真・イラストや、思いや気付きが表された吹き出しを多く使用することで、児童の学習意欲や関心を引き出すよう配慮されている。巻末に考え方や調べ方、まとめ方、道具の使い方が示された「ちえとわざのたからばこ」（上125、下113）が配置され、学び方の具体をイメージしやすくしている。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東書	生活101・102	どきどき わくわく あたらしい せいかつ上 あしたへ ジャンプ 新しい生活下

(所見) 一人一人の活動や気付きを多様な方法で表現する学習活動が、発達段階に応じて、上巻と下巻で適切に配慮されている。植物の生長順序を捉えやすい変形判 ページや取り外して屋外の活動に携行できる実物大の動植物図鑑などが示され、児童が自分の生活の中で実物を見つけやすいように配慮されている。写真やさし絵によって、見つける・比べる等、多様な学習活動例を示し、気付いたことをもとに考えらえるよう工夫されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
4・大日本	生活 103・104	たのしい せいかつ 上 なかよし 下 はっけん

(所見) 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、繰り返し対象と関わり、自分との関係の中で活動でき、また、具体的な活動や体験から、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、生活技能等が身に付けられるよう配慮されている。活動の成果を互いに認め合ったり、過去の自分と比較して成長に気付いたりできるよう工夫されている。伝え合い、交流する場面を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で高め合うよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
1・1・学図	生活 105・106	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上・下

(所見) 振り返りを大切にし、自分のよさに気付いたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。資料性の高いページや巻末の図鑑ページが充実しており、児童自ら活動を広げていけるよう配慮されている。臨場感あふれる写真が使用され、活動意欲を引き出すとともに、内容や流れが見通せるよう工夫されている。場面ごとに、学習の振り返りの参考となる学習カードが示され、活動を振り返り、自己の成長を自覚できるよう配慮されている。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17・教出	生活 107・108	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよしひろがれ

(所見) 見開きのページごと、右側にヒントや約束のコーナーが置かれ、発達段階や他教科と関連付けた学習ができるように配慮されている。発達段階に応じて、表現活動が系統的に設定されている工夫もみられ、児童の思考を深めたり、豊かな表現力が身につくよう配慮されている。また、学習をサポートするキャラクターにより、活動を呼びかけたり、何気ない気づきから自覚された気づきへと導いたりできるように工夫されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38・光村	生活 111・112	せいかつ 上 まいにち あたらしい 下 だいすき みつけた

(所見) 児童が身近な人々、社会、自然と継続的に関わる中で対象の特徴やよさや楽しさを感じられるよう配慮されている。平易な言葉や単元の内容に合ったイラスト・写真により、活動の流れや内容が分かりやすい。また、活動の多様な例示により、幼児教育や中学年以降の教育との接続、他教科との関連に生かせるよう配慮されている。試行錯誤の過程や問題解決の例が示されており、気づきの質が高められるような構成になっている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

.....

.....

.....

.....